

みずほマーケット・トピック(2023 年 11 月 2 日)

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

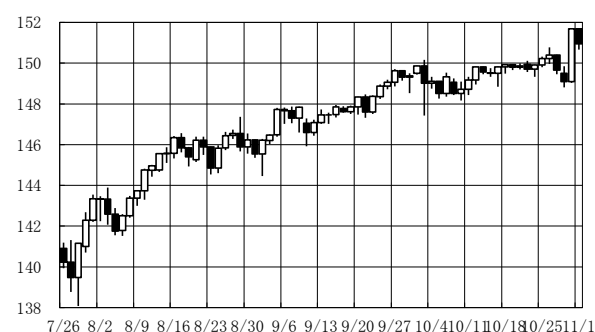
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は、年初来高値後、じりじりと値を下げる展開となった。週初30日、149.74円でオープンしたドル/円は、日銀の政策修正や政府・財務省の為替介入への警戒感から、149円台後半でじり安。海外時間は、日銀がイールドカーブコントロール(YCC)の再修正に動くとの観測報道が材料視され、一時週安値となる148.81円に下落した。31日、ドル/円は円の戻り売りから上昇する中、日銀会合の決定内容が公表されると、市場想定よりも穏当な政策修正だったことから円売りが加速し、150円台に続伸。海外時間は、米7～9月期雇用コスト指数や米10月コンファレンスボード消費者信頼感の良好な結果を受け、米金利上昇につれる格好で年初来高値となる151.74円に上値を伸ばした。11月1日、ドル/円は米金利低下や神田財務官の円安牽制発言を受け、151円台前半へじり安。海外時間は、四半期定例入札の規模拡大ペースが鈍化し米国債の需給ひっ迫懸念が後退したことや、米10月ISM製造業景気指数の弱い結果を受け、米金利が続落する流れにつれ151円を割り込んだ。本日のドル/円は、ドル売り相場の中、150円台半ばでの取引となっている。
- 今週のユーロ/ドルは、1.05台後半を中心にレンジ推移した。週初30日、1.0562でオープンしたユーロ/ドルは、欧州株高や独金利上昇に加え、イタリア国債の対独スプレッド縮小が好感され、1.06台前半に上昇した。31日、ユーロ/ドルは欧州株高を背景に一時週高値となる1.0675に続伸も、堅調な米経済指標を受けた米金利上昇が重しとなり、1.05台後半に反落した。11月1日、ユーロ/ドルは独金利が大きく低下する流れに合わせ、一時週安値となる1.0517に下落した。FOMCにおけるパウエルFRB議長会見は、追加利上げの必要性が低下したことに言及するなど市場が警戒したほどタカ派な内容ではなかったものの、為替市場においてはそれほど材料視されなかったとみられる。本日のユーロ/ドルは、ユーロ売りの一服を背景に、1.06付近での取引となっている。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		10/27(Fri)	10/30(Mon)	10/31(Tue)	11/1(Wed)	
ドル/円	東京9:00	150.37	149.74	149.13	151.31	
	High	150.40	149.85	151.74	151.61	
	Low	149.47	148.81	149.03	150.67	
	NY 17:00	149.65	149.05	151.74	150.95	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.0562	1.0562	1.0614	1.0577	
	High	1.0597	1.0625	1.0675	1.0581	
	Low	1.0535	1.0547	1.0558	1.0517	
	NY 17:00	1.0565	1.0616	1.0576	1.0571	
ユーロ/円	東京9:00	158.79	158.15	158.37	160.08	
	High	158.87	158.91	160.83	160.25	
	Low	158.00	157.70	158.29	159.08	
	NY 17:00	158.07	158.23	160.39	159.55	
日経平均株価		30,991.69	30,696.96	30,858.85	31,601.65	
TOPIX		2,254.65	2,231.24	2,253.72	2,310.68	
NYダウ工業株30種平均		32,417.59	32,928.96	33,052.87	33,274.58	
NASDAQ		12,643.01	12,789.48	12,851.24	13,061.47	
日本10年債		0.87%	0.89%	0.95%	0.95%	
米国10年債		4.84%	4.89%	4.93%	4.73%	
原油価格(WTI)		85.54	82.31	81.02	80.44	
金(NY)		1,998.50	2,005.60	1,994.30	1,987.50	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、10日(金)に11月ミシガン大学消費者マインド(速報)が公表予定となっている。10月分の結果(確報)は、63.8と9月の67.9から大きく低下した。現況指数、期待指数いずれも悪化を見せており、家計のセンチメントが急速に悪化したことが示唆される。公表元のコメントに目を移せば、安定していたインフレ懸念が再び強まっていることが指摘されている。実際、物価高が生活水準を低下させているとの回答が顕著に増えたことにも言及している。なお、1年先の期待インフレ率に関しても、9月の+3.2%(前年比)から同+4.2%へ大きく上昇した。ガソリン価格上昇を受けたものと推察されるが、これが総合ベースのインフレ率にどの程度影響を与えるかには注意が必要だ。
- 本邦では、7日(火)に9月毎月勤労統計が公表予定。前回8月の結果に関し、現金給与総額(名目賃金、前年比)は+0.8%と20か月連続で増加した。正規労働者の所定内給与は+1.6%と相応の伸びを記録しているものの、パートタイム労働者なども含めれば、全体として賃金上昇は鈍い。一方、実質賃金は、8月には▲2.8%と17か月連続で減少を記録している。賃金上昇は物価高に大きく劣後しており、国民の暮らし向きは苦しい状態で、日銀の『生活意識に関するアンケート調査』でも、暮らし向きDIはリーマンショック以来の低水準を記録している。かかる中、連合は来年の春闘で「+5%以上」の賃上げ要求を掲げる方針を示した。一部の大手企業が先んじてこれを上回る賃上げ方針を公表しているものの、こうした流れが中小企業含め日本全体に広がっていくかに注目したい。

	本 邦	海 外
11月3日(金)	_____	・独9月貿易収支 ・ユーロ圏9月失業率 ・米10月雇用統計 ・米10月非製造業PMI(確報) ・米10月ISM非製造業景気指数
6日(月)	・日銀金融政策決定会合議事要旨(9月会合分) ・10月非製造業PMI(確報)	・独9月製造業受注 ・ユーロ圏10月非製造業PMI(確報) ・ユーロ圏11月センチックス投資家信頼感
7日(火)	・9月毎月勤労統計	・独9月鉱工業生産 ・ユーロ圏9月生産者物価指数 ・米9月貿易収支
8日(水)	・9月景気動向指数	・独10月消費者物価指数(確報) ・ユーロ圏9月小売売上高 ・米9月卸売在庫(確報)
9日(木)	・日銀金融政策決定会合 主な意見(10月会合分) ・9月国際収支 ・10月景気ウォッチャー調査	_____
10日(金)	_____	・米11月ミシガン大学消費者マインド(速報)

【当面の主要行事日程(2023年11月～)】

FOMC(12月12～13日、1月30～31日、3月19日～3月20日)

ECB政策理事会(12月14日、1月25日、3月7日)

日銀金融政策決定会合(12月18～19日、1月22～23日、3月18～19日)

金融市場部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/egon.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/egon_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2023年10月30日	150円台定着を受けて～その背景と今後の論点整理～
2023年10月27日	週末版(ECB政策理事会を終えて～再投資停止を阻むイタリア国債利回りの上昇～)
2023年10月26日	ECBプレビュー～利上げ代替としてのMRR引き上げ～
2023年10月23日	サービス収支に透ける製造業の行動変化
2023年10月20日	週末版
2023年10月19日	本邦9月貿易統計～起きるべくして起きた23年の円安～
2023年10月18日	再び直面する天然ガスリスク～ユーロ安考察～
2023年10月16日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年9月分)
2023年10月13日	週末版(日独GDP逆転について～「弱い円」が原因としても・・・)
2023年10月12日	カネ関連収支でも拡がるサービス赤字
2023年10月11日	赤字が拡がるデジタル関連およびカネ関連の国際取引
2023年10月10日	円安シナリオを延命させる中東リスク
2023年10月6日	週末版
2023年10月5日	「底打ち懸念」も漂う米経済～米金利上昇の考え方～
2023年10月4日	続・インフレを輸入する日本～「人手不足」の波～
2023年10月3日	ユーロ圏のインフレ情勢とECBの「次の一手」について
2023年10月2日	インフレを輸入する日本～インフレ持続性の考え方～
2023年9月29日	週末版
2023年9月26日	円安シナリオを長続きさせる貿易赤字
2023年9月25日	日銀金融政策決定会合～マイナス金利解除の行方～
2023年9月22日	週末版
2023年9月21日	FOMCを終えて～「2024年こそ利下げの年」という危うさ～
2023年9月20日	23年4～6月期資金循環統計～「貯蓄から投資」の胎動～
2023年9月19日	「欧州の病人」は戻って来たのか？
2023年9月15日	週末版(ECB政策理事会を終えて～「事実上の利上げ停止宣言」の読み方～)
2023年9月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年8月分)
2023年9月13日	ECB政策理事会プレビュー～「見送り+α」の公算～
2023年9月12日	日銀の政策運営に関するQ&A～読売報道を受けて～
2023年9月11日	7月国際収支の読み方～為替需給変わらず～
2023年9月8日	週末版
2023年9月7日	日本の貿易収支が直面する2つの想定外
2023年9月6日	海外出張で体感した内外価格差について
2023年9月4日	BRICS共通通貨は「いつか来た道」
2023年9月1日	週末版(ECB政策理事会議事要旨と8月消費者物価指数について～9月利上げの行方～)
2023年8月30日	夏を終えても変わらなかった円の独歩安
2023年8月28日	ジャクソンホールで浮き彫りになるインフレに対する「当事者」感
2023年8月25日	週末版
2023年8月24日	ユーロ圏経済の悪化とユーロ相場現状
2023年8月23日	なぜ購買力平価は使えなくなっているのか
2023年8月22日	力強さが続くユーロ圏の雇用・賃金情勢
2023年8月21日	「持たざるリスク」に直面する日本の家計部門
2023年8月18日	週末版(本邦7月貿易収支を受けて～中国不振が阻害する収支改善～)
2023年8月17日	本邦4～6月期GDPの読み方～冴えない内需～
2023年8月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年7月分)
2023年8月14日	年初来安値で確認する円の立ち現在地
2023年8月10日	再投資柔軟化から1年～フランスに並んだイタリア～
2023年8月9日	週末版(アマゾン「プライム」値上げの意味するもの～デジタルサービスへの外貨流出～)
2023年8月9日	緩和持続を約束する実質賃金の低迷～円安の余韻～
2023年8月8日	23年上半期の国際収支統計を受けて～CFベースでは赤字～
2023年8月7日	マイナス金利解除の実現可能性～日銀に迫る円売りゲーム～
2023年8月4日	週末版
2023年8月2日	ユーロ圏経済の近況～経済・物価情勢はECB/ハト派化を示唆～
2023年7月31日	日銀会合を終えて～今後の課題は「円売りによる挑発」～
2023年7月28日	週末版(ECB政策理事会を終えて～急速に薄らいだタカ派色～)
2023年7月27日	FOMC(7月25～26日)を終えて～現状維持に備え～
2023年7月25日	日銀金融政策決定会合(7月27～28日)プレビュー
2023年7月21日	週末版(正常化が近づくインバウンド需要～労働で稼いだ外貨はどこへ行くのか・・・)
2023年7月20日	23年上半期の貿易収支を受けて～構造変化を直視～
2023年7月19日	残る円安・資源高の余波～物価「変化率」だけでなく「水準」も～
2023年7月18日	ICEドルインデックスの100割れをどう読むべきか？
2023年7月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年6月分)
2023年7月13日	週末版
2023年7月13日	実効ベースで見た為替相場～最強「フラン」と最弱「円」～
2023年7月12日	円高の読み方～自律反発後にどこまで戻るか～
2023年7月11日	経常収支の正しい読み方～符号ではなくキャッシュフローを～
2023年7月10日	イノベーションボックス税制はBrain freezeの処方箋か
2023年7月7日	週末版(金利差拡大で円安が進まない背景～日本株下落とポジションの偏り～)
2023年7月6日	「投機の円売り」と「夏枯れ相場」～進むキャリー取引～
2023年7月5日	ユーロ圏6月消費者物価指数～雇用・賃金情勢の逼迫～
2023年7月3日	シミュレーション進む「ドル抜きの世界」～COFERの近況～
2023年6月30日	週末版
2023年6月29日	金融政策と通貨政策、動くのはどっちが先か
2023年6月27日	23年3月末時点の「資金循環統計」を受けて
2023年6月26日	「2005～07年の円安バブル」と現在の違い
2023年6月23日	週末版
2023年6月22日	ECBは利上げ停止後に何をするつもりか
2023年6月21日	「Brain freeze(思考停止)」と研究開発サービス赤字
2023年6月20日	「2030年までに対内直接投資残高100兆円」の現実味
2023年6月19日	日本、「監視リスト」除外の読み方～国力低下の象徴～
2023年6月16日	週末版(ECB政策理事会を終えて～we're not at destination～)
2023年6月15日	FOMCを終えて～追い詰められる円高見通しと年内利下げ～
2023年6月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年5月分)
2023年6月14日	日銀はいつ動くのか～円安抑止策としてのYCC修正可否～
2023年6月13日	家計金融資産の「開放」は何を意味するか～骨太の方針～
2023年6月12日	FRBは他国・他中銀から影響を受けるのか？
2023年6月9日	週末版
2023年6月8日	本邦4月国際収支統計を受けて～「新しい赤字」の影～
2023年6月7日	ユーロ圏のインフレ期待について～6月会合プレビュー～
2023年6月6日	「弱い円」への覬覦は日本人を動かすか？
2023年6月5日	米5月雇用統計を受けて～遅く遠くの年内利下げ～
2023年6月2日	週末版(コアベースでも鈍化し始めたユーロ圏インフレ率～ハト派転化には十分と言えず～)
2023年6月1日	FRB、6月利上げ見送りの受け止め方～円高到来か？～
2023年5月30日	ユーロ圏の賃金・物価情勢～賃金は峠、エネルギー環境は脆弱～